

花乃井だより

学校
通信

令和2年11月11日(水)

第 41 号

大阪市立花乃井中学校

油断大敵

すっかり寒くなりました。空気も乾燥し、新型コロナウィルスやインフルエンザウイルスなどの感染症ウイルスが猛威を振るうシーズンになりました。この時期は何といっても“のど”の乾燥に要注意です。こまめな手洗いとうがいを心がけ、部屋の中では換気と加湿を忘れないこと。

学校のように集団活動をしている場でも、感染症の拡大は日々の対策の徹底



でほぼ防ぐことができます。月曜日の全校集会で校長からも確認がありましたが、ちょっとした心のゆるみが油断となって表れてきます。日常的に感染症対策をお互いに合言葉のように声を掛け合って、協力してやっていきましょう。家に帰っても同じですよ。忘れないように!!



全校集会では、後期の生徒会各委員の認証式があり、後期の活動が実質的にスタートしました。認証されてから初めの1ヶ月が大切です。今の気持ちを忘れずに、積極的に活動していくことです。悔いのないように、それぞれの役割を果たしていきましょう。

第2回学校協議会

本年度2回目の学校協議会が11/10(火)に開催されました。委員の皆様には19時からという遅い時間に集まっていただきましてありがとうございました。第1回目は新型コロナ禍の影響で4月に紙面上にての実施となりました。「学校の運営に関する計画」についても、アンケートでご意見をいただきましたが、今回は本校の図書室に集まって従来の会議形式で実施することができました。直接お話することができて本当によかったです。

本協議会では冒頭に「校舎増築工事」等に関して、教育委員会事務局と西区役所の担当者から説明がありました。いよいよ12月から校舎増築に伴う既存校舎の改修工事が始まります。(2階の被服室を兼用の調理室に改修、4階の資料室や多目的室を普通教室に改修、体育館にエアコンを設置、プールの壁面・底床の修復など)また、工事中の安全対策や生徒の動線、通学路の確保、周辺近隣・関係者への説明会の開催など、質疑応答をしながら確認されました。今後、約3年余りにわたって工事が続いていくことになります。

続いて、教頭より学校の現状について説明し、校長より「学校の運営に関する計画」の中間反省について説明しました。最後に、いじめの現状や学校の安全対策など、様々な

ご質問・ご意見をいただきました。(詳細については後日、学校ホームページにて別掲載しますのでご覧ください。)

3年平和学習

3年生のフロアに平和学習の掲示があります。12月の修学旅行へ向けての取組みとして1年次より行ってきました。

今回は「平和と“絆”」「平和と“情”」「平和と“夢”」「平和と“伝”」「平和と“命”」の5つのテーマでそれぞれの意見が張り出されています。以下、抜粋です。

- ◆ 「平和になるための手段はない」と思っている人に、そう思わせないことによって平和になると思う。
- ◆ 他人事にしないで、実際にあった事実を自分たちのことのように受けとめる。
- ◆ 一人一人ができる事をしっかりと考える。
- ◆ 地域の人たちの絆という小さい所から絆を深めていく。全員ができたら国同士の絆も深まっていくから。
- ◆ 自分だけではなく、みんなで一緒に平和について考えよう
- ◆ 広い心を持ち、思いやりを持って行動する。
- ◆ 一人一人の心がけて平和は創れる。
- ◆ 戦争によって失われた命の悲しみや悔しさをしっかりとつないでいく。
- ◆ 感情に流されない。惑わされない。人の意見を聞く。
- ◆ 自分をしっかりと持って、感情をコントロールしよう。
- ◆ 悲しみを忘れないようにつなげていく。
- ◆ 相手の考え方方が自分の考え方と同じだと思わない。
- ◆ 世界中の人々の幸せがあってこそ「平和」だと思うので、この平和のために戦争を起こす原因をなくし、みんなの「夢」を叶えられるような状況づくりを心掛ける。
- ◆ 夢が叶うためには世界が平和である必要がある。
- ◆ 今、私たちが夢を抱いているのは、たくさんの人が平和を築いてくれたから。
- ◆ 戦争を体験した人の話を聞き、自分の代で途絶えないように次の世代に繋げる。
- ◆ 過去に起こったことで一番伝えていくべきことは戦争で、現代において一番伝えていくべきことは差別であると思います。伝えることは、人を傷つける行いはしてはいけないということだと思います。
- ◆ 伝え方を誤ってはいけない。
- ◆ 人の命があり、自分の命がある。
- ◆ 命あるからこそ「平和」だと思う。平和あっての命、命あっての平和!!
- ◆ 奪うのも、奪われるのも痛いんだよ。
- ◆ 平和のために使われる命が一つも無いように。

